

神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

くさか景子の



ちょっ

と

よろしいですか！

What's
New?

毎月発行 県政情報紙 2008年11月 Vol.18

神奈川県青少年保護育成条例を9月議会で改正

「出会い喫茶」18歳未満入店禁止！

出会い喫茶ってどんなところ？

女性は大抵無料、男性は入会金を払い、マジックミラー越しに女性を指名し、交渉次第で店外に連れ出しデートすることができます。こうした形態は以前「デートクラブ」という名前でもありましたが、「出会い喫茶」としては2年前くらいから増え、全国で100店以上あるといわれ、県内では横浜、川崎に6店舗あるといわれています。しかし、児童買春、売春などの犯罪の温床とある恐れがあり、問題となっています。これまでも、女子高校生にお金を渡し、わいせつ行為で逮捕された事件は全国で起きています。女性の方もアルバイト目的だったり、勧誘もうまい話を持ちかけたりと低年齢化してきた実態があります。

法の規制は？

出会い喫茶は風営法の規制対象外の業種のため、届け出せずに自由に営業することができます。女性も従業員ではないので風俗営業とみなされません。県では、条例を改正して、各店舗に県への届け出を義務づけ営業の実態を把握し、青少年が犯罪に巻き込まれないよう規制しました。

全国でも京都府と神奈川県で条例を改正

条例は、出会い喫茶への18歳未満の入店、勧誘、業務の従事などを禁止。摘発した場合は店に営業停止命令を出し、6ヶ月以下の懲役又は罰金30万円以下の罰金を設けました。松沢知事は、青少年の保護のためにも法で規制するよう国にも働きかけるとしています。



今回の条例改正で、青少年が被害に遭う事件がなくなることを願っていますが、出会い喫茶だけではなく、ネットや携帯から簡単に、出会い系サイトなどに接続でき、次なる網の必要性が求められます。しかし、次々と規制してもまた新しいものが生まれるもので、規制すれば防げるものではありません。私たち大人が社会が地域が、いろいろな立場や目線で、こどもたちを見守っていける社会をつくっていくことが大切だと考えます。



格差社会のゆがみを受けるこどもたち

— 定時制高校事情 —

神奈川県では、現在、県立高校改革を行っており、全日制、定時制、通信制高校の中でも、総合学科や専門学科、フレキシブルスクール、昼間の定時制など様々な種類の学校を作っています。しかし、全日制高校の進学率は全国でも最低で、定数が増えないために、定時制や通信制高校に行かざるを得ないこどもたちが増えています。そして、格差社会のゆがみを最も強く受けているのは、定時制高校です。昔は、勤労学生や勉学に勤しむ大人が夜勉強するために通うのが定時制高校でしたが、今は、全日制からあぶれたこども、不登校のこども、受け入れが困難な外国籍のこどもなど様々な事情を抱えて通っています。また、授業料が払えない、ひとり親で貧困家庭、家庭の事情が複雑など多くの課題を持っています。

県内には、18校の定時制があり、私は過日、茅ヶ崎高校の定時制を訪問し、授業を参観しました。安くておいしい夜の給食が終わっても戻る生徒は少なく、しゃべったり思い思いのことをしている中で、教師は教科書が買えない生徒が多いので、ゲーム感覚の問題が書かれたプリントを配り、なんとか興味を持ってもらおうと頑張っています。それでも楽しく授業は繰り広げられていました。



茅ヶ崎高校定時制夜間の授業風景

それぞれの生徒はみんな事情を抱えて通っており、途中挫折して退学せざるをえない生徒もいますが、学校が居場所になっているだけでも救われると感じられました。教師たちの努力だけではなく、社会でこどもたちを支えられるような、学習権を確保できるような支援が必要だとひしひしと感じました。



くさか景子のほっとコラム

今時のお産～娘の出産から～

9月の台風の中、娘が初めての出産をした。娘は妊娠した時、どこの病院で産もうか考えたが、昨今の産科医師不足、茅ヶ崎でもそんなに選べない、4箇所だ。大きい病院にしよう、4時間待ったが3分診療に嫌気が差し、初めての産でわからないことだらけの娘に診療時間に30分かけてくれる助産院を選んだ。なにかあった時のため大きい病院と連携しているが、幸い安産で、夫立会いのもと、医療介入の多い病院と違って、自分の好きなスタイルで産み、まさに自分が産み出した感覚だそう。茅ヶ崎市では、妊婦健診が7回まで無料となっているが、助産院では使えず立ち遅れている。身近で安心して産める助産院をもっと活用すべきだ。娘は自信をもって助産院出産をすすめるといっている。

